

別記様式2

副専攻プログラム説明書

開設学部（学科）名〔教育学部（第一類）〕

プログラムの名称	(和文) 初等教育教員養成副専攻プログラム
	(英文) Elementary School Teacher Education
1. 概要 初等教育教員養成副専攻プログラムでは、初等教育にかかわる基礎的基本的な認識を形成し、初等教育にかかわろうとする関心・意欲・態度を育成することを目的とする。 そこで、本副専攻プログラムでは、教育の基礎理論に関する科目と教育課程及び指導法に関する科目を開講する。前者に関しては、教育に関する歴史及び思想に関する科目、幼児及び児童の心身の発達及び学習の過程に関する科目、教育に関する社会的制度又は経営的事項に関する科目を開講する。後者に関しては、教育の方法及び評価に関する科目、小学校の各教科の学習指導に関する科目、特別活動の指導法に関する科目を開講する。 なお、本副専攻プログラムの履修のみでは小学校教諭免許状を取得することはできない。	
2. 到達目標 本副専攻プログラムは、初等教育にかかわる次の事項の達成をめざす。 1) 初等教育にかかわる基礎的基本的な認識を形成する。 2) 初等教育にかかわる諸問題に関する基礎的基本的な認識を形成する。 3) 初等教育にかかわろうとする関心・意欲・態度を育成する。 本副専攻プログラムの到達目標としての学習成果（具体的に身につくことが期待される知識・技能・態度）は次のとおりである。 ○知識・理解 1) 初等教育に関する基本的理解 2) 小学校における学校経営の理論と方法に関する基本的な知識 3) 児童期を中心として、幼児期から青年期にかけての子どもの成長と発達に関する基本的理解 4) 小学校における教科指導の理論と方法に関する基本的な知識 5) 小学校における特別活動の理論と方法に関する基本的な知識 ○技能・態度 1) 初等教育の理論や方法に関する情報を収集し、批判的に分析・検討することができる。 2) 小学校が直面している教育課題に関する情報を収集し、批判的に分析・検討することができる。 3) 小学校におけるカリキュラムや授業実践について学ぶとともに、それを批判的に分析し、検討することができる。 4) 小学校における学校経営について学ぶとともに、それを批判的に分析し、検討することができる。 5) 様々な文献や資料を検索して、初等教育に関する情報を収集し、読解するとともに、テーマに応じてまとめることができる。	
3. 登録時期 プログラム開始時期は、2年次である。プログラム登録は、履修開始前に行うこと。	

4. 登録要件
(1) プログラム選択のための既修得要件(履修科目名及び単位数等) プログラム選択のための既修得要件は、特に定めない。
(2) 履修上の注意点 「野外活動実践」「野外教育実践」は、学外の宿泊施設を利用した実習を行うため受講生受入数(上限10名)に制限があるので注意すること。実習では食事等の経費が必要となる。また、事前説明会を実施するので、必ず参加すること。他の科目についても、条件を課す場合がある。
5. 受入上限数 30名。
6. 授業科目及び授業内容 ※授業科目は、別紙の履修表を参照すること。 ※授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照すること。
7. 修了要件 別紙の履修表に示す授業科目の内、16単位を修得すること。
8. 責任体制 初等教育教員養成プログラム担当教員会。
9. 既修得単位等の認定単位数等
(1) 他大学等における既修得単位等の認定単位数等 認定単位数の上限を8単位とする。
(2) 広島大学における既修得単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)の認定単位数等 認定単位数の上限を16単位とする。

【副専攻プログラム履修に関する注意事項】

○主専攻プログラムの授業時間割の関係で、登録した副専攻プログラムの授業科目履修が制限されることがある。

○副専攻プログラムで開設されている授業科目も、本学共通の平均評価点(GPA)の計算対象に含まれる。

